

『幕末太陽傳 (ばくまつたいようでん)』

—人物相関図—

幕末時代・品川

相模屋

芸者玉菊
<早花 まこ>

芸者豆奴
<笙乃 茅桜>

芸者音吉
<杏野 このみ>

女房お辰
<梨花 ますみ>
相模屋主人の妻

相模屋楼主伝兵衛
<奏乃 はると>
相模屋の主人

やり手おくま
<舞咲 りん>

番頭善八
<透真 かずき>

芸者市丸
<沙羅 アンナ>

芸者定吉
<希良々 うみ>

息子徳三郎
<彩風 咲奈>
相模屋の若旦那
先代相模屋主人の息子

幼馴染

女中おひさ
<真彩 希帆>
長兵衛の娘
相模屋で働く

女郎およし
<沙月 愛奈>

女郎おかし
<千風 カレン>

女郎おうめ
<桃花 ひな>

女郎おもちゃ
<愛 すみれ>

女郎おてつ
<白峰 ゆり>

女郎おさだ
<妃華 ゆきの>

女郎おもよ
<蒼井 美樹>

女郎おうの
<星南 のぞみ>

女郎おつね
<彩 みちる>



居残り佐平次
<早霧 せいな>

無一文で相模屋で豪遊し、
金を返済するために
居残りで働きはじめた
口八丁手八丁の切れ者

一目置いている

利用する

貸本屋金造
<鳳翔 大>
相模屋に出入りしている
貸本屋

金造の友人

ガエン者権太
<星加 梨杏>

ガエン者玄平
<縣 千>

岡っ引き平六
<久城 あす>

相模屋の客



黒兵衛大尽
<汝島 伶>
おそめの客
おそめからは疎まれている

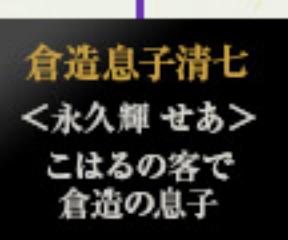


仏壇屋倉造
<悠真 倫>
こはるの客

鬼島又兵衛
<香綾 しづる>
長州藩江戸詰見回役
鬼の鬼島と恐れられる



梵全
<天月 翼>
おそめの客



倉造息子清七
<永久輝 せあ>
こはるの客で
倉造の息子

金銭支援を
求める

維新派長州藩士



高杉晋作
<望海 風斗>
仲間とともに相模屋に
長期滞在している維新派の長州藩士
異人館の焼き討ちを計画する

久坂玄瑞
<彩風 翔>
厳格な性格
途中から相模屋に合流

佐平次の連れ

気病みの新公
<叶海 世奈>

呑み込みの金坊
<鳳華 はるな>

粹がりの長次
<ゆめ 真音>

志道聞多
<煌羽 レオ>

長嶺内蔵太
<橘 幸>

大和弥八郎
<叶 ゆうり>

伊藤春輔
<陽向 春輝>

有吉熊次郎
<眞ノ宮 るい>